



桜丘まちづくりニュース

N010 平成23年3月

—快適に住み続けられるまちづくり— 発行：NPO世田谷桜丘まちづくり

3月11日に起こりました「東日本大震災」で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

～ 平成23年度も盛りだくさんの行事～

平成23年度の行事予定

1. 桜まつりを4月3日(日)に予定しておりましたが、3月11日に起こりました東日本大震災の被害の大きさを考慮し、この時期に、「お祭り騒ぎはふさわしくない」との判断から今年中止させていただきました。
2. ペナントギャラリー・七夕飾り子供たちが描いたペナントを見ながら参商会商店街でお買い物。商店街を彩る夏の風物七夕飾りを今年もお楽しみに。
3. ウォーキングラリー 10月23日(日)
笹原小学校起点を起点に近辺の名所旧跡を回って地域の歴史を勉強します。今年どちらのコースになるでしょうか
4. 古布・古着の回収 5月14日(土) 11月5日(土)
5. コンサート・桜丘音楽祭
6月または9月に1回と12月は昨年のおペラ「魔法の笛」に続いて、「くるみ割り人形」の予定
6. 子供まちづくり関係 絵画コンクール・ハロウィンなど子供たちが中心になって街や商店街の雰囲気盛り上げます。



世田谷桜丘周辺思い出アルバム作成 ご協力をお願い

23年度の新企画

「桜丘歴史写真館」開設に向けて

桜丘の歴史を写真アルバムとしてまとめようと思っています。

- ◎ 桜丘の昔から現代までの写真を集めて分類し保存するライブラリーを作ります。
- ◎ 対象は風景、農地、神社とお祭り、学校、商店街、衣装や娯楽等の風俗、交通・乗り物、建物、スポーツ設備等
- ◎ 皆様からの写真の提供をお願いします。古い写真大歓迎です。
- ◎ コンサートやセンター祭り等の機会に写真展を開催します。
- ◎ 桜丘のアルバムとして一冊の本にまとめることも考えています。

皆様のご家庭で 桜丘の行事や風景など、思い出に残る写真がありましたら、お貸しいただけませんか。

桜丘地区のアルバムにします。コピー作成後は返却いたします。また、お貸しいただいた写真はアルバム作成と写真展以外には無断で使用することはありません。

※ お貸しいただける方は、NPO 世田谷桜丘まちづくり事務局までご連絡ください。

※ 写真に、いつ頃、どこの写真か？メモを添えていただければ助かります。



昭和26年当時の千歳船橋駅の駅舎

桜丘ウオーキングラリー報告

前回に引き続き、商店街（参商会）の一部をフリーゾーンとして出題対象の商店等を探す方法を採用して平成22年10月24日（日）に実施いたしました。夕方からの雨の予報ながら昼間は何とか天気はもちましたが、今回の参加者は69名（20チーム）と残念ながら過去最小でした。今後は企画内容や募集方法などを改善したいと考えております。

今回は、桜丘小学校を出発し、桜丘中学校・千歳通りを經由して桜樹広場を一箇所目のチェックポイントとしました。その先はフリーゾーンで商店街を探索し、二箇所目のチェックポイントである桜丘コミュニティサロン（NPO事務所）で解答をしました。その後は、群馬県学生寮である上毛学舎・城山通り・黒駒裏街道・長島大榎公園を經由して桜丘小学校にゴールしました（スタートからゴールまでの標準時間は2時間）。

参加者の皆さんは、商店街ではチーム内で手分けして走り回るなど出題に真剣に取り組んでいただきました。出題数がやや多かった上に出題対象の掲示物が見えなくなっていたなどのハプニングがいくつかあったこともあり、参加者の方は大変だったようです（企画運営者として大いに反省しています）。しかし、日頃見慣れているはずの商店街も意外に知らないことも多かったようで、商店街の商店等に対する認識度も大いに高まったものと思われます。また、いつものように地域の歴史などについて出題しましたので、自分達の住む街の歴史への知識や関心が深まったのではないのでしょうか。これをきっかけとして私たちのまちづくりに関心を高めていただければ幸いです。

最後に、今回も笹原小学校と桜丘小学校のPTAの皆様には参加者の安全確保などにお手伝いいただきましたこと、桜丘小学校には施設等を利用させていただいた上に吉田校長には問題を2題作成していただいたこと、地域内の商店や企業から賞品のご提供をいただいたこと等に厚く御礼申し上げます。皆様のご協力によりまして今回も事故等がなく実施できました。今後もNPO世田谷桜丘まちづくりの活動にご支援・ご協力をお願いいたします。



桜丘まちづくりコンサート

桜丘音楽祭でのオペラ初演 「魔法の笛」

昨年12月19日、桜丘ホールに多くの音楽ファンが集まりました。モーツァルトのオペラ「魔笛」を日ごろクラシック音楽になじみの無い人や子供たちにもわかりやすくアレンジした、「魔法の笛」がNPO役員で子どもまちづくりを主催する田中章恵さんの企画と舞台監督の元に公演されたのです。

出演者はかつて声楽家を目指した田中さん（現在は画家として活躍）のご友人を始め二期会の会員の方など、多くの音楽の専門家に参加していただき、昨年の夏から何回もの練習を重ねて今回の公演にこぎつけました。

こうした出演者の熱意と献身的な協力がなければこの公演の成功はありませんでした。

また、出演者の中には桜丘に係わりの深い人たちも数多く参加していただきました。

桜丘中学の音楽の先生や素晴らしい衣装やメイクを担当された方、オペラの筋をわかりやすく説明するナレーションを担当していただいた方などいずれも桜丘で活躍されている皆様です。

練習の場所を提供していただいた桜丘小学校・笹原小学校の協力も大いに助かりました。桜丘児童館には舞台装置の製作に大変ご尽力いただきました。

このように多くの方の協力の元に素晴らしい舞台が出来上がったのです。

聴衆の方々にも大変満足していただけたようで、来年も楽しい演奏会を開催してくださいとの声が多く聞かれました。桜丘ホールに入りきれないほどの多くの皆様に来場いただき大変ありがとうございました。

来年もまた楽しい企画で皆様にお目にかかりたいと思います。



【日常生活や災害時に備えて「桜丘助け合い隊」隊員募集中】

日常生活でお困りの方や地震など緊急時に、お互いに助け合える組織づくりを目指して活動中です。

◎お年寄りやご不自由な方がちょっとしたお手伝いを必要とする時にお役に立ちます。

◎家具の移動、掃除、庭の手入れ、お使いの代行、ゴミ出しなど、特別な資格を必要としない範囲でのお手伝いをお受けします

いざという時に「助けてほしい方」の登録を受けております(NPO事務局まで)

地震に備えた家具の固定など、ご心配ごともお気軽にご相談ください。



古布・古着の回収にご協力いただきありがとうございました。

雨の予報を覆して、晴天に恵まれた最高の回収日和でした。何時ものように桜丘小学校南側、笹原小学校東門、宇山神社の3か所で9時の開始を待ち兼ねるように多くの皆さんが手で運んだり自転車や車で大量の古布・古着を持ちこまれました。中には2回・3回と往復される方もいて11時までの2時間にそれぞれのトラックが一杯になりました。最近では近隣の町でも古布・古着の回収が行われるようになり、前回の今年5月から比べると回収量は2割ほど少なくなりました。

中には新品やそれに近いものも含まれていて、別に分けてお持ちいただき、NPO世田谷桜丘まちづくりのコミュニティステーションで皆様に活用していただいています。次回は5月14日に行います。

【回収量】 桜丘小学校 4,120kg 笹原小学校 2,430kg
宇山神社 2,250kg 合計 8,800kg でした。



桜丘小学校前に集まった古着の山

桜丘の歴史と風物シリーズ(第2回)

宇山稲荷神社と久成院

桜丘4丁目の北西に宇山稲荷神社と久成院があります。この辺りは「宇山」と言われてきました。元は多摩群宇奈根村(現、世田谷区宇奈根)の人が入植して開墾したため、古くは宇奈根山谷と呼ばれ、これを略して宇山としたそうです。江戸幕府は宇山のように新しくできた村には菩提寺・鎮守社(一村・一寺・一社)を建立することを奨励しましたので、鎮守社として宇山稲荷神社、菩提寺として久成院を建立しました。

宇山稲荷神社は、宇山の人々の氏神様として村人を支えてきましたが、初めの社は南向きに建てられていました。ところが、200年余り前に悪い病気が流行したので、氏子たちは申し合わせによって社を西向きに改築したところ、氏子たちの悪病も次第に全快したといういわれがあります。以来、ここは「西向稲荷(にしむきいなり)」と呼ばれ、また「防ぎ神の神事」なども行われています。神社の境内は、松やケヤキが茂り、拝殿のほか、末社として第六天、天神様、御嶽、榛名神社も祀られています。

久成院の名は正式には南照山久成院東耀寺(なんしょうざんくじょういんとうようじ)、天台宗深大寺の末寺です。「久成院」という名は「久遠実成」に由来しているそうです。建立の詳しい年は不詳ですが、初代住職の墓に「元和元年」(1615年=豊臣氏が大阪夏の陣で滅んだ年)となっていることから、それ以前に建てられたことは確かです。

かつては普段は無住のために、村の世話人たちが宇山神社とともに守り続けてきました。昭和12年(1937年)に住職が来られた時、まだこの周辺は人家もまばらで、檀家は37~38軒だったそうです。その後、茅葺の建物は改修され、昭和33年(1958年)には本堂が、また昭和35年(1960年)には庫裏が立派に建て替えられました。



「NPO 世田谷桜丘まちづくり」、地域のためにお力を貸していただけるボランティアを募集しています。

次の世代を担う子供たちの育成・いつまでも快適に住み続けられるまちづくりを目的に、様々な活動を通じてより良い街づくりを目指しています。稲荷神社前のコミュニティサロンまでお申し込みください。

会費 : 個人会員 1年間 3000円(月当たり 300円) 賛助会員 1年間・一口 5000円

植松 透さんのプロフィール

国立音楽大学、同大学院にて打楽器を学ぶ。1993年NHK交響楽団に入団、その後N響海外派遣研修員としてベルリンに留学、ライナー・ゼーガース氏のもとで研鑽を積み、現在NHK交響楽団ティンパニ・打楽器奏者として国内外にて活躍中。その傍ら打楽器合奏のさらなる可能性を追求しミラクルパーカッションアンサンブルを結成、代表をつとめる。国立音楽大学、洗足学園大学講師として後進の指導に当たる。



◇ 桜丘との関わりは？

1年間のドイツ留学から帰国したその翌日、友人のソプラノ歌手嶽道優子さん(桜丘在住)に誘われて桜丘まちづくりコンサートに出演させていただきました。その時のお客様、つまり桜丘の皆様の本当に温かい人柄に接し、ああ、こんなまちに住んでみたいな！と思ったのがきっかけです。留学先での人々との触れ合いや日本とは異なった住環境の経験などから、帰国後の生活に具体的に変化を求めていた私たち夫婦にとって、桜丘は思いがけず理想のまちとして目の前に現れました。まちづくりの小野さんに素敵なお家を建てていただき、住み始めてもう9年が経ちました。

◇ 桜丘の魅力など

ここ5年ほど桜丘集会室において毎年一度、松楽会という音楽会を開いています。妻の篠笛教室の発表会として始まったのですが、私もN響での演奏の傍ら音楽大学で後進の指導をしているのでそこに打楽器の生徒たちが参加、またいろいろなジャンルの芸達者な友人たちのパフォーマンスも加わり今では寄席のようななんでもありの楽しい会に育ちました(今年は4月24日です)。この音楽会を桜丘のまちの方々が一生懸命支えてくださるのです。私たちが知らないうちにあちこちにチラシが貼られていたり、配られていたり、音楽会当日も通りすがりの人に声かけをしてくださったり・



桜丘は人と人との横のつながりがとても強く、みんなで支え合っていることをいつも実感できる素晴らしいまちです。大きな太鼓の繰り出す秋祭りも大好きです。

◇ 演奏以外に、興味を持っていること

N響まで片道15kmほどあるのですが、自転車で通ったりしています。ロードバイクとマウンテンバイクを持っています。気分を使い分け。ストレス解消とメタボ予防ですね。それから弟に刺激されてオートバイでツーリングもします。昨年は龍馬熱で東京から桂浜まで行きました。ツーリング先で美味しいものを食べる・メタボ促進です。

※植松さんは、桜丘3丁目にお住まいで、桜丘の小中学校や粕谷図書館などで子供たちを対象にした演奏会など、大変好評でした。



まちづくり賛助会員の紹介

NPO 世田谷桜丘まちづくりを支援していただいている賛助会員の皆様(敬称略)

桜丘地域に、事業所があり、私たちの活動に賛同し、日常の活動やイベントなどにご協力頂いています。

☆ 世田谷信用金庫船橋支店 ☆ 水道機工(株) ☆ (株)ライステック ☆ ミサワホーム東京(株) 世田谷支店
☆ 保田医院 ☆ 伊藤内科胃腸科 ☆ 東京土建組合けやき分会 ☆ VIC 進学院 ☆ 美容室ビューロード

発行者：NPO 法人世田谷桜丘まちづくり

電話・FAX: 03(3427)4181

Eメール: npo.sakuragaoka@diary.ocn.ne.jp

東京都世田谷区桜丘2-20-10

ホームページ: <http://npo-skr.sakura.ne.jp/>